

平成30年度第1回射水市文化財審議会会議録

生涯学習・スポーツ課

- I 開会日時** 平成31年3月15日（金）午後1時30分から午後3時まで
- II 会議場所** 庁舎会議室401
- III 出席委員** 米原会長、鈴木委員、上野委員、水岡委員、久々委員（欠席1名）

IV 会議概要

1 開会

教育長あいさつ

2 議題

(1) 「放生津八幡宮祭り曳山車 奈呉町曳山車」の現状変更について

(2) 「放生津八幡宮祭り曳山車 南立町曳山車」の現状変更について

申請のあった2件の現状変更については、交換した部品及び修理等の経緯を示す関係書類を永年保存することの条件を付して承認した。

3 報告

(1) 「小島の石名橋」の修理結果について

(2) 「うらじろ櫓」の経過について

(3) 射水の築山・曳山行事調査事業について

(4) 重要文化財「石黒信由関係資料」の追加指定について

(5) 「旧伏木港右岸3号岸壁水平引込式クレーン」の国登録有形文化財の登録手続きについて

4 閉会

【質疑・発言】

議題（1）「放生津八幡宮祭り曳山車 奈呉町曳山車」の現状変更について

議題（2）「放生津八幡宮祭り曳山車 南立町曳山車」の現状変更について

[委員] 取り替え材には平成の修理ということを明らかにするため、墨書等を残してもらいたい。

[委員] 曳山は動く工芸品。品格を崩さないよう、所有者に対しては維持管理と扱い方について注意喚起をしてもらいたい。

報告（3）射水の築山・曳山行事調査事業について

[委員] 石名橋の裏面に彫られている石仏を調べることはできないか。

[事務局] 重くて薄く、脆い石材であるため、裏返して確認することはできない。

報告（4）重要文化財「石黒信由関係資料」の追加指定について

[委員] 新湊博物館のこれまでの取り組みの成果が表れた。うれしいニュース。伊能忠敬資料より優れた資料にもなりうる。地元への還元度は圧倒的に石黒信由資料の方が高い。さらに理解が進むことを望む。